

水と世界

沖縄県 アミークスインターナショナル中学校 一年 渡慶次 裕奈

私たちは日常生活の中で、常に水を使用しています。例えば、飲み水、料理、洗濯、シャワーなど、毎日「当たり前」に使っています。

しかし、皆さんは野生の動物たちが水質汚染によって苦しんでいるという事実を考えたことがあるでしょうか。私は「野生の島のロズ」という小説の第三巻を読むまで、その事についてあまり考えたことはありませんでした。この本は未来を舞台に、ロボットのロズが、人間が作り出した汚染から動物たちの命を救おうと奮闘する物語です。私は本を読み終えた後、この環境汚染が実際にどれほどの問題なのか、もっと知りたくなり、インターネットで調べてみました。すると、多くの動植物が水質汚染の影響を受けていることがわかりました。水質汚染は、産業排水や生活排水の不適切な処理、気候変動などによって引き起こされます。汚染された水の中で暮らす魚たちの生息環境に関わり、魚がいなくなれば、それらを捕食するその他多くの動物も生きられなくなり、食物連鎖に大きな影響が出てしまいます。そして、動物や植物だけでなく、人間にも安全な水を手にすることができない人たちがたくさんいることがわかりました。水質汚染や水不足、衛生設備の不備が原因です。アフリカの国々の、水のない乾燥した土地の写真や、茶色い泥水を飲んでいる子供たちの写真も見ました。

国際的な目標であるSDGsの一つに「安全な水とトイレを世界中に」というものがあります。二〇三〇年までにすべての人が安全な水とトイレを利用できるようにする目標です。調査によると、まだ三十四億人が安全なトイレを使えず、二十二億人が安全な飲み水を使えないそうです。

こうした問題に気付き、私は今いつでも好きな時に好きなだけ水を使えるので、それに苦しむ人々に対して本当に申し訳なく思います。しかし、今からでも、簡単な行動から始めることで彼らを救うことができる

と思います。まず、歯磨きの時にこまめに蛇口を閉めたり、シャワーを使う時間を短くしたり、自分の周りの人に水を節約する重要さを教えたりますことです。また、ビーチクリーン活動に参加して、海の環境保護への関心を深めることも大切です。

小さな行動ですが、みんなで実行することで大きな成果となると思います。みんなできれいな水の世界を作るために、いま行動しましょう。